

from

ほうかつ

令和7年3月発行

特集!

行政・民間・地域住民の力で地域福祉を推進! ～「檜葉町地域福祉計画・地域福祉活動計画」まもなく完成!!～

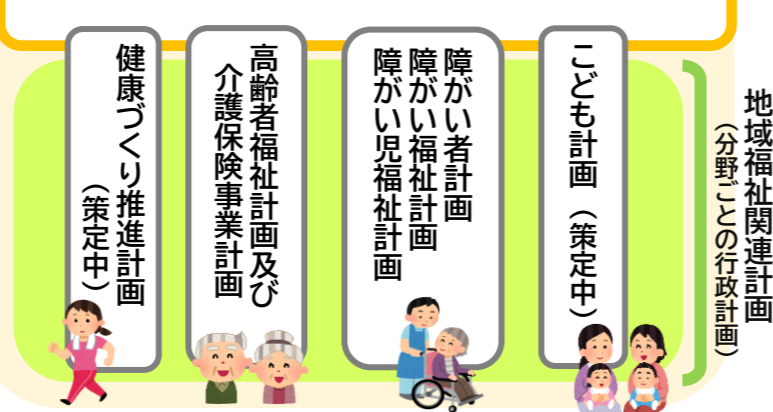
今、檜葉町において「第5次檜葉町地域福祉活動計画・第2次地域福祉活動計画」を策定中です。「地域福祉計画」は、町が地域福祉を進めるための理念や仕組みを示す行政計画であり、「地域福祉活動計画」は、社会福祉協議会が中心となって地域住民・福祉関係者等と一緒に地域福祉を推進するための民間計画です。

これまで相互に連携を図りながら別々の計画として策定されてきましたが、共通の理念や方向性を掲げ、行政と民間が両輪となって総合的に福祉のまちづくりを推進することを目的に、計画を一体化し、一冊の計画にまとめています。

今回は、インタビューをまじえながら本計画のポイントについて詳しくご紹介します!

檜葉町勢振興計画 町政運営の基本方針(最上位計画)

檜葉町地域福祉計画・地域福祉活動計画



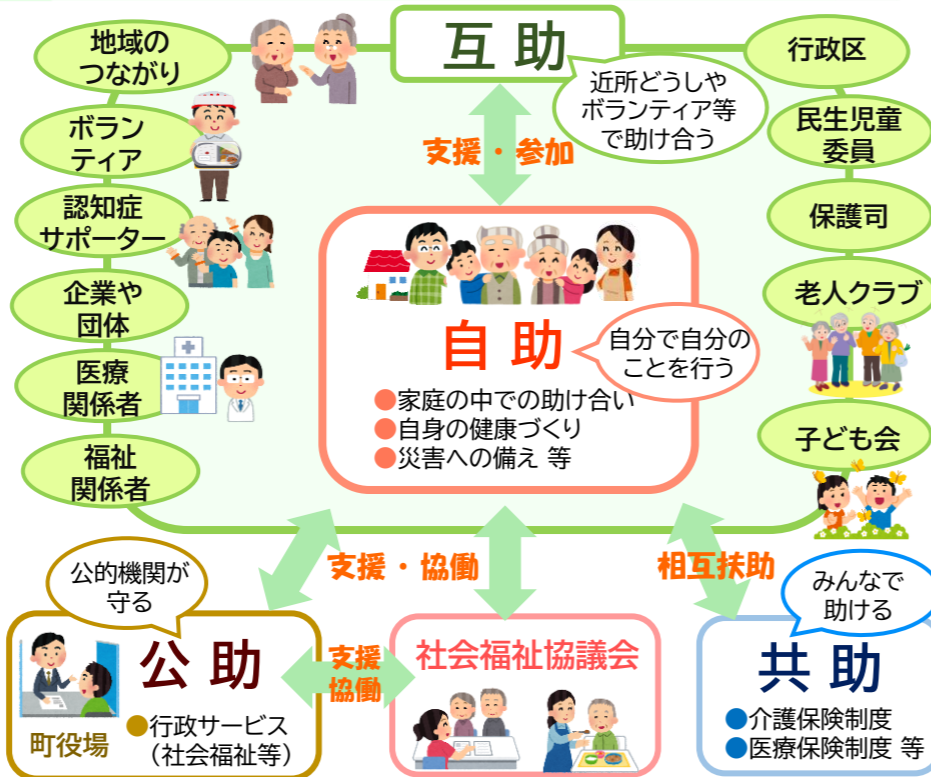
ポイントは住民参加!! 地域福祉に欠かせない4つの要素とは

本計画では、**自助**、**互助**、**共助**、**公助**の4つの要素を、地域福祉推進に不可欠な概念として掲げています。

地域住民、福祉関係機関、社会福祉協議会、行政等が、地域社会の一員としてそれぞれの役割を持ち、必要に応じてこれらの要素を組み合わせることで支え合うことが大切です。

また、公助（行政サービス）や共助（介護保険・医療保険制度等）だけではなく、地域社会のなかで「互助」（地域住民がお互いに支えたり、支えられる関係性）が普段の暮らしでも、災害時でもとても大きな役割を果たします。

地域課題を「我が事」として捉え、地域住民の皆さんも一緒になって課題解決や地域づくりに関わっていくことが重要です。



ゆず太郎インタビュー!

計画策定の担当者へ聞く! ～計画に込めた地域福祉への思い～

行政 檜葉町保健福祉課社会福祉係 早川五月 係長

本計画は、基本理念“みんなで支え合い 幸せを実感できるまち”と3つの基本目標「みんなが助け合い、支え合う仕組みがあるまちづくり」「みんなが参加しやすく、つながりが持てるまちづくり」「みんなが安心して共に暮らせるまちづくり」を掲げ、各分野の計画からあがった様々な課題や檜葉町地域福祉計画策定検討委員会でのご意見等をもとに策定しています。行政・民間（社会福祉協議会や福祉関係者等）だけでなく、住民の皆さんの協力が地域福祉推進の大きな力になります。

住民の誰もが、地域で役割を持ち、一人ひとりの暮らしと生きがいを地域とともに創っていくこと(地域共生社会)を目指していきます。



第5次地域福祉計画
第2次地域福祉活動計画

策定検討委員会 檜葉町地域福祉計画策定検討委員会 猪狩充弘 委員長

檜葉町は、原発事故により全町民が避難を余儀なくされ、一時は人が消えた町です。それでも多くの高齢者は「生まれ育った町がいい」と先んじて帰町し生活されています。この町の基盤を築き、支えてきた高齢者の皆さんのために、安心して暮らせる環境を整えることが我々の使命だと考えます。震災によって核家族化が進んだ当町だからこそ、近所の助け合いやボランティア活動等、「互助」の果たす役割は大きいと思います。今回、福祉計画の策定に携わり、私自身も非常に考えさせられ学ぶことが多いと感じました。町と社協が車の両輪のように連携し計画を策定することは大きなポイントですが、計画の進捗管理や見直しを実施しながら施策を実現する体制づくりと町民の理解が必要です。今後も住民の皆さんと一緒に地域福祉を推進していきたいと思っています。



社会福祉協議会 檜葉町社会福祉協議会 新妻かおる 事務局次長

檜葉町社会福祉協議会では、民間の地域福祉の担い手として、行政や福祉関係機関、地域住民の皆さんと一緒に地域福祉活動を進めてきました。今回、地域福祉計画と地域福祉活動計画が一体的に策定されることにより、行政・民間・地域住民が横断的なつながりをさらに強めることができると考えます。また、社協としても今後取り組むべき地域課題を明らかにし、行政や地域住民の皆さんと協力し合いながら、計画に基づいてよりよい地域福祉の実現を目指していきたいです。今後も、地域の皆さんが「檜葉に住んで良かった」と思えるように、地域の皆さんと一緒に地域づくりを行っていききたいと思います。



高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156
〒979-0604檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)
Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽にご相談ください。

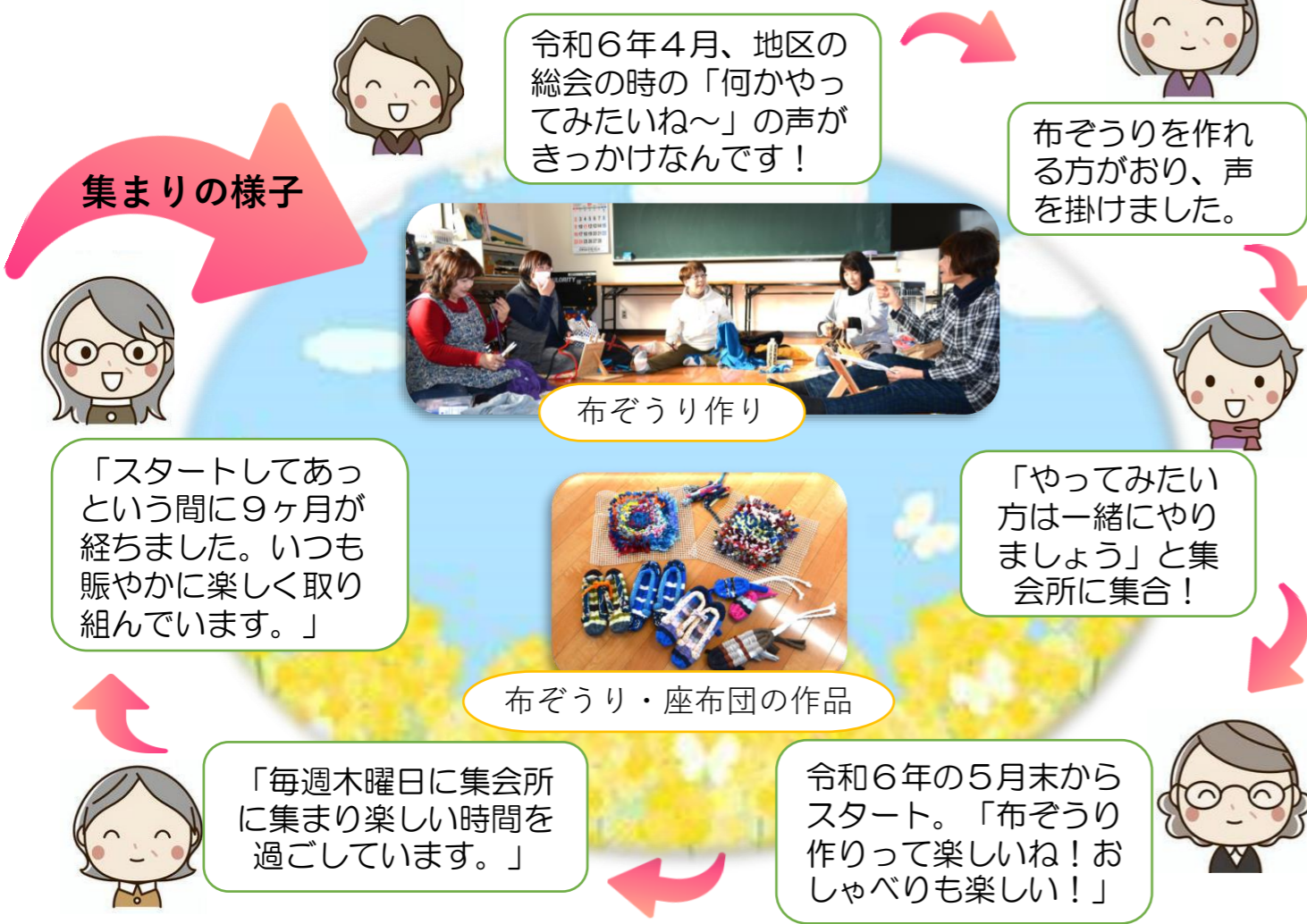


「何かやりたいね〜」から始まった松館地区集会所での集いをご紹介します。



松館地区にお住いの女性6名が集会所に集まり「布ぞうり作りを楽しんでいます」との情報をいただいたので見学に行ってきました。皆さんが集会所に集まるようになったきっかけは、何だったのでしょうか？お話を伺ってきたので、紹介したいと思います。

「皆さんが集まるようになったきっかけは？」



これは、まさに「地域ミニデイ」ですね！

「ミニデイ」って聞いたことがあるんだけど内容がわからないので教えてください！

地域ミニデイについて

地域ミニデイは、介護予防体操、レクリエーション活動、茶話などを通して、ご近所さんとの交流を深める地域の身近な集いの場です。地域に出かける場があり、身体を動かしたりお互いに顔を合わせておしゃべりしたりすることは、心身機能を維持し、介護予防や生きがいづくりとなるだけでなく、地域のつながりをきらない、大きな支えあいの役割を持っています！

松館地区の集会所では、男性陣も集まり、脳トレーニングを楽しむ時間を作っているそうです。女性陣も一緒に参加する計画もあるようで、地域包括支援センターの私たちもとても楽しみにしています。これからの活動を応援していきたいと思っています！

檜葉町地域包括ケアシステム まじわる つながる 支え合う リレー

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。ふたばの里からリレー園にバトンが繋がりました。

第9走者



リレー園

施設長 山内日出夫さん

～特別養護老人ホーム リレー園～
リレー園は、檜葉町の恵まれた自然の中で地域の人々と交流し、つながりを持ちながら安心して暮らすことができる介護施設です。

～リレー園とは～
○要介護3以上の認定があり、常時、医療機関において治療を必要としない方が入所でき、要支援1・2、要介護1～5の認定がある方はショートステイのご利用も可能な施設となっています。リレー園では、毎月定期的に行事を開催しています。2月は豆まきを行いました。鬼を追い払い、福の神を招き入れました！

～ふたばの里とのつながり～
○就労継続支援B型事業所 ふたばの里さんへ委託し、リネン交換やトイレ掃除の業務を行っていただいています。人手が少ない状況にあり、とてもありがたく思っています。

～地域とのつながり～
—世代間交流—あおぞらこども園の園児たちを招待し、交流会を行いました。園児によるダンス披露と利用者・園児の混合チームでボール渡し競争を行いました。利用者の皆さんは目を輝かせ、満面の笑顔が見られました。
—地域の方の慰問—地域の方が、季節の歌や昭和歌謡曲などを唄ってくださり、演奏も披露していただきました。普段、各フロアで音楽が流れており歌が大好きな方も多くあります。いつもと違った生演奏に癒されている姿が見られました。
※利用者さんの“笑顔”をみたり“笑い声”などを聞いたりすると、地域交流は大事だと改めて実感しました。今後も地域の方との交流を大切にしていきたいと思っています。

～介護職員を募集しています～
○リレー園を利用される方が年々増えている状況にあります。より良いサービスの提供を目指し、スタッフがやりがいをもって働くためには介護職員の確保が大きな課題となっています。リレー園は、施設サービスの拡大で、より多くの支援を可能とし人々の暮らしに貢献できる施設を目指しています。そこで「介護職員を大募集中」です。「施設を見学したい」「仕事の話聞いてみたい」という方大歓迎。私たちと一緒に働きませんか？

～みんなのつばやき～

センター長 江尻
幼稚園、小学校、中学校、高校、大学...それぞれの「卒業」を経てきましたが、卒業式の後にはいつも「後戻りはできないのだなあ〜」と感じたものです。儀式の意味を学んだのだと思います。

社会福祉士 渡邊
幼稚園の卒園式では優しい担任との別れ。大学では、友人との別れが悲しくて泣きました。私も涙することがあるんです！

生活支援コーディネーター 小林
卒業式でよく歌われる「揚げば尊し」は明治時代から歌い継がれてきたそうです。ご卒業の皆さんおめでとうございます。

看護師 馬上
卒業式は、看護学校が最後です。「私、頑張りました！」と達成感を覚えています。今は歯科治療中ですが...早く卒業したいと思っていますところなんです。